

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和3年8月25日（水）10時00分～10時50分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、佐藤（匡）室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 敷地全般管理・対応プログラム部

担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室

担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、1号機及び2号機非常用ガス処理系（以下「SGTS」という。）配管の一部撤去作業における事故分析調査について、資料に基づき、主に以下の点に関して説明があった。

- 撤去したSGTS配管は4号機カバー建屋1階に設置したハウス内に輸送し、コンテナ詰めにするために細断する。
- 配管細断前にガンマカメラによるSGTS配管の汚染密度の測定を行う。
- 配管細断後、SGTS配管内面のスミヤ採取及び必要に応じて配管サンプルの採取を行う。

○これに対して、原子力規制庁は、ガンマカメラによる汚染密度の測定方法、スミヤ採取方法等を確認するとともに、スミヤ採取箇所等については、東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会において議論できるよう準備することを東京電力に伝達した。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去に関する事故分析調査作業について

以上